

1-A-7. S研共同配送

<日清オイリオグループ(株)>

1. 概要

| 項目 | 内容 |
|-----------|---------------------------------|
| 物流共同化のタイプ | 同業他社との物流センター共同化 同業他社との配送の共同化 |
| 主な対象貨物 | 食料品 |
| 導入時期 | 1996年10月 |
| 月間取扱貨物量 | 3,000トン/月 |

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 物流コストの削減
- ・ 輸配送の効率化

2) 狙い

- ・ お得意先様への物流品質を向上すること及び、対象エリア全域の受注翌日納品を実現するため。
- ・ S研共配3社製品を一括納品することで、お得意先様の荷受け業務改善に貢献するため。
- ・ 専用便化や車両の大型化を図ることにより、配送コストを低減するため。
- ・ 納品車両の減少、大型化により、排出ガスの削減や交通渋滞、お得意先様での騒音の抑制などに貢献するため。

3. 対策効果

| 項目 | 対策効果 (実施前を100とした場合の実施後の数値: 実施後/実施前×100) |
|-----------------------|---|
| 燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果 | 80~85% |

- ・ メーカー毎の配車から複数社分の配車にすることにより、車両の大型化と積載効率の向上・車輛台数の削減が可能となった。それによりお得意先に対しては荷受業務の効率化、社会環境に対しては排出ガスの削減、騒音抑制、交通渋滞緩和等にご貢献することが出来た。

4. 事業内容

- ・ 「在庫ストック方式」(東北6県)S研共配3社製品の共同保管、同一の出荷指図書での集荷、配送車両への同時積み込み、同一車両での配送、という形態。
- ・ 「無在庫クロスドッキング方式」(甲信越3県、北陸3県、滋賀県、中国5県、四国4県)各社の出荷拠点から翌日納品分をクロスドッキングデポに夜間移動、方面別仕分け、3社荷合わせ、同一車両で配送という形態。